

東京トレッキングクラブ

T. T. C. 会 報 2014年 3 月号

会長：飯田隆一

<http://www.tokyo-trekking-club.jp/>

《 3 月 の 山 行 計 画 》

No. 3, 056 丹沢本間ノ頭北東尾根 < B > L 高橋輝男

3月2日(日) 6:39 新宿発小田原行急行=7:32 本厚木 7:50 宮ヶ瀬行バス=8:45 宮ヶ瀬 8:50 歩き出し-50分金沢橋-45分 532m-40分 732m-40分 849m-30分 1,043m-1時間10分本間ノ頭(1,234.4m)-1時間40分高畑山-1時間5分宮ノ平バス停

歩程：7時間20分+1時間40分……9時間 17:50 宮ノ平バス停に着く。バスで本厚木駅へ。

地図：2.5万図“青野原 大山”

費用：約2,500円

申し込み：2月28日(金)までにリーダーへ。

備考：本厚木駅バス5番乗り場に集合。アイゼン、ヘッドライト必携

No. 3, 057 蔵王坊平XCスキー、樹氷見物 L 河野良子

XCスキー、ゲレンデスキー、スノーシューでの樹氷見物も楽しめます。

3月8日(土) 8:08 東京発山形新幹線「つばさ127号」=8:14 上野=10:46 かみのやま温泉=タクシーでペンション村へ。 昼食後ゲレンデに向かう。自由行動。15:30 宿に戻る。

3月9日(日) 9:00 ゲレンデに向かう。XCコース、ゲレンデ滑走、オーナーの案内で樹氷見物。昼食はライザワールドレストランで石窯焼ピッツアなどを賞味。14:30 宿に戻る。16:00 ペンション村発シャトルバス(無料)=16:40 かみのやま温泉 17:14 「つばさ154号」=19:56 東京

費用：約 35,000 円、スノーシュー、ゲレンデスキーのレンタルもあります。又連泊も可能です。

申し込み：3月3日（月）までに葉書、電話、FAX でリーダーへ。

No. 3, 058 美ヶ原（スノーシューハイキング） L 佐藤ツヤ子

3月15日（土） 下諏訪駅（中央本線）10：20 集合。10：30 宿の車で山本小屋へ。昼食後王ヶ頭付近迄スノーシューハイキング（**3月16日（日）** 茶臼山又は牛伏山をスノーシューハイキング

初日は約2時間30分。2日目は約3時間の行動で今回は雪山の展望と温泉を楽しみたいと考えているので基本的には自由な雪遊びです。雪山の写真撮る人、温泉と景色だけを楽しむ人歓迎です。（天然温泉です）

地図：昭文社“八ヶ岳・蓼科・美ヶ原・霧ヶ峰”

費用：宿代約1万円（1泊2食・高速代）＋交通費

申し込み：3月1日（土）までに葉書、電話、メールでL迄。

備考：スノーシューレンタルの人は別途2,000円（期間中）かかります。ワカンのある人はワカンでも良いと思います。宿の送迎バスは玄関先迄行きます。

No. 3, 059 虎丸山－能岳－八重山－秋葉山－根本山 < B >

L 阪本弘二

八重山五感の森から富士山を眺めながら上野原駅まで歩きます。

3月22日（土） 8：44 高尾発小淵沢行＝9：07 上野原 9：26 バス＝9：40 新井 9：50 歩き出し－30分虎丸山－25分能岳－5分八重山－15分八重山展望台－50分駐車場－30分上野原遊歩道入口－25分秋葉山－30分根本山－1時間国道－40分上野原駅

歩程：5時間10分＋1時間……6時間10分 16：00 上野原駅に着く

地図：2.5万図”上野原”

費用：約2,000円

申し込み：2月20日（木）までにハガキ・TEL・FAXでリーダーへ。

No. 3, 060 大室山 < B >

L 飯田隆一

3月29日（土） 7：26 高尾発小淵沢行＝7：51 藤野＝タクシー約35分大渡 8：35 歩き出し－1時間久保からの道と合流－2時間大室山－1時間15分加入道山－10分白石峠－40分林道－40分西丹沢自然教室バス停

歩程：5時間45分＋1時間30分……7時間15分 15：50 バス停に着く。

地図：2.5万図“”大室山“ 昭文社”丹沢“

費用：約4,000円

申し込み：3月26日（水）までに葉書、電話、FAX、携帯SMSでリーダーへ。

備考：大室山までのコースは残雪が予想されます。十分な装備で参加下さい。

No. 3, 061 西武安比奈線廃線跡地から川越水上公園 <C>

L 中神琳枝

田園地帯に残る休止線のウォークと水上公園めぐり。

3月30日（日）8：31 西武新宿発本川越行急行＝9：25 南大塚駅北口 9：35 歩き出し－10分南台交差点－55分ロケ地標識－35分安比奈線終点－35分池辺公園－50分水上公園－25分公園一周－20分西川越駅

歩程：3時間50分＋1時間20分……5時間10分 14：45 西川越駅に着く。

地図：2.5万図“川越南部”

費用：約500円

申し込み：3月28日（金）までに葉書又は電話でリーダーへ。

《 山行報告 》

No. 3, 036 忘年山行

12月1日（日）晴

Aコース：城山～高尾山

パーティ：北原、神戸、飯島／飯田、松井、山本、五十嵐、L新井田 計8名
バス停脇の指導標に導かれ歩き出し僅かで茶屋等あり山道に入る、雑木林で展望なく所々岩がゴロゴロする道を行き階段状になり城山に。ここからは行き交う人も多くトレランパーティも、一丁平、紅葉台、高尾山と4号路にここも人多く琵琶滝経由で会場に。

歩き出し8：30－城山9：30－紅葉台10：40－琵琶滝入口11：35－会場12：10

（新井田 記）

Bコース：紅葉台～高尾山

パーティ：松永、瀬川、菊池、石井、河野、佐近／斎藤、阪本、田中、L大塚
計 10 名

9：00 歩き出し。日影沢を右に日影沢林道を城山方面に、紅葉台に向かう分岐に、此処より登山道らしくなり静かなコースでした。紅葉台にて名残のみみじ、富士山を見ながら休憩中にAコースの方々に追いつかれました。此処からは混雑の中を深山橋経由で会場へ。

9：00 日影バス停歩き出しー9：35 紅葉台への分岐ー10：40 紅葉台ー11：10 深山橋ー12：20 清流亭
(大塚 記)

Cコース：金比羅神社～四辻

パーティ：柴田、佐藤、吉原、阪本、荒／虹、L高橋(輝) 計 7 名

高尾駅南口から街中を歩き、金比羅神社登り口から落ち葉の積もる山道を登りつめて金比羅神社に着きます。その先、僅かに残る自然の中を歩きました。

10:00 高尾駅歩き出しー10:30 金比羅神社 10:40ー11:25・302m 11:40ー11:50 四辻ー12:05 会場
(高橋(輝) 記)

Dコース：直行

パーティ：中神／長竿、畑石、見目、 計 4 名 総計 29 名

懇親会（琵琶家清流亭）で斎藤さんの乾杯の音頭で始まり、会席弁当を頂きながらオークション、じゃんけんゲーム等で盛り上がりました。最後は山本さんが締めました。
(飯田 記)

No. 3, 037 登谷山・釜伏山（奥武蔵） < B >

パーティ：瀬川、河野、佐近、持田、村田／峯原、L佐藤(ツ) 計 7 名

12月8日（日）晴。打出でバスを降り少し先で槻川にかかる橋を渡り、山腹に広がる上ノ山集落の先から杉林の中の本格的な山道となるが、この先も車道の交差した二本木峠を経て三角点のある愛宕山に着く。南西面の眺望が良く大霧山、笠山、武甲山などが見渡せる。更に車道の通じる新二本木峠を経て登谷高原の最高峰皇鈴山に着いた。山頂は広くあずま屋、句碑、小祠があるが展望は良くない。風が強くて寒くあずま屋は使えないので風を避けて昼食をとっていると他のパーティが忘年山行とやらで鍋パーティを始めた。良い匂いに心引かれながら我々は寒いので早々に歩き出す。暫しの急登で登谷山に着く。電波中継塔の建つ山頂からの眺めはすばらしい！！眼下に寄居の街並が広がっている。釜伏神社に参拝し奥の院まで登ってその先車道に出て、日本名水百選に選ばれた日本水は岩壁崩落のため立ち入り禁止なので「風のみち歩道」を散策し、ミカン栽培「北限の地」

の風布集落でミカンやユズを買い求めて波久礼駅で解散した。車道歩きが長いが人が少なく静かな山村風景の中を晩秋の一日を楽しむ事が出来ました。道を間違え釜伏山に行けず参加者の皆さん御免なさい。里山と言えども侮れません・・・
9：40 打出歩き出し-10：50 二本木峠-11：00 愛宕山-11：25 皇鈴山（昼食）
12：00-12：25 登谷山-12：55 釜伏神社-16：10 波久礼駅解散（佐藤(ツ) 記)

No. 3, 038 今熊山から天合ノ峰 < B >

パーティ：大島、瀬川、菊地、荒、河野、森戸／大村、新井田、阪本、高場、五十嵐、L高橋(輝) 計12名

12月15日(日)晴。今熊山登山口までバスを利用、今熊山へ。ピーク523mから遠ノ谷戸山を通り、今年1月の地図読みの間違い地点で「地図読み」納得。計画どおり林道に出る。林道乗越に有る薄い踏み跡(今回は利用しなかった)からピーク345mへの急斜面の藪漕ぎをする。八王子市基準点の先の間違った場所に着くまでに、2回小さなミスをしてしまった。問題の分岐点は、そのまま直進(東)してしまうのが当たり前の地形。で、南南東の緩やかな斜面に「進入禁止」?の枝木が積まれている踏み跡を見る。読図を信じ、枝木を跨いでこのルートをとる事にする。しばらくして左手に造成地が見えてきて、間違い無しと確信する。尾根は続いているが地図上尾根末端は道路法面となっているので下れるかが心配、でガイドでも造成地を下りているので我々も造成地を利用して戸沢峠に出た。戸沢峠の道路標識の有る所から急斜面に取り付く。登り切ったピークを310mと誤認し、コースミスをしてしまったが、皆さんの地図読みで修正する事が出来た。天合ノ峰の三角点をタッチ、金毘羅山山頂の奥宮に完歩の御礼をして山行の終了とした。

今熊山登山口7:55-今熊山9:00~10-523mピーク9:25-遠ノ谷戸山10:25-前回間違った場所10:55-林道11:20~50-345mピーク12:00-八王子市基準点12:30-前回の問題地点13:00-戸沢峠13:25-誤認ピーク13:40~14:00-天合ノ峰14:50~15:00-金毘羅山15:20~30-影沢バス停15:50 解散。(高橋(輝) 記)

No. 3, 039 狭山丘陵の公園めぐり < C >

パーティ：松永、北原、島田／畑石、L中神 計5名

12月15日(日)晴。西武遊園地駅から歩き出す。都立狭山公園に入る。多摩湖堤下の公園は広々とした草地や林が広がる。散策を楽しむ人が多い。案内板に従いたっちゃん池に降りる。橋を渡り多摩湖の堰堤に上り湖水を眺め小休止。広場から車道に出て住宅地の中、坂の多い道を進み円乗院に入る。楼門をくぐり静かなお寺に参拝し、稜線沿いの道を歩き都立東大和公園に入る。晩秋の静かな雑木

林は青空をバックに枯葉が舞い心がゆれる。人の気配がない広場で昼食。公園から二つ池公園に出て方向を迷いながら人に道を尋ね、東大和市立郷土博物館に入る。「狭山丘陵とくらし」をテーマに運営され東大和の歴史、民俗の展示、プラネタリウムもある。館内を出て八幡神社から狭山緑地に入る。階段状の滑りやすい緑地を散策して、後半は木道の遊歩道から多摩湖自転車道に出て鹿島橋を渡り車道に出る。先に進み多摩湖の堰堤に出て休憩をとり西武球場前駅に向かう。

西武遊園地駅 10:25 歩き出しー多摩湖堰堤広場 10:50～11:00ー円乗院 11:30～45ーアカマツ広場 12:10～45ー郷土博物館 13:50～14:10ー鹿島橋 15:10ー西武球場前駅 15:50
(中神 記)

No. 3, 040 日連アルプス <C>

パーティ：佐藤(ツ)、大島、瀬川、菊地、荒、河野、神戸、堅田、山田(広)、佐近、森戸、白井／大村、飯田、佐藤(正)、大塚、山本、見目、杉本、L阪本 計20名

12月21日(土) 晴。藤野駅9:15 歩き出し。国道20号から日連大橋を渡り金剛山への赤い小さな鳥居をくぐり北面の霜で白くなった急斜面を登り金剛山に着き大室山や加入道山等の展望を楽しむ。金剛山からわずかの時間で日連峰山に着き藤野の街並みを真下に見て杉峠から稜線からはずれた鉢岡山に登り丹沢・道志・大菩薩の山々をながめ杉峠に戻り日連山から三等三角点のある宝ノ峰で昼食にする。休憩後頂上からすこし下り左の踏み跡に入り北面の尾根道の落ち葉をふみしめて鉄塔の脇を通り日連集落に出て途中野菜を売ってる店でお買物をして藤野駅に着き解散。本日の目的駅前の店「風里」でミニ忘年会。参加者18名でよく飲んでよく喋り盛りあがった。

藤野駅歩き出し9:15ー10:00 金剛山 11:10ー11:00 鉢岡山 11:10ー12:00 宝ノ峰(昼食タイム) 12:30ー13:40 藤野駅 (阪本 記)

No. 3, 041 榎ノ木山～倉戸山

パーティ：大島、持田、佐近、木原、飯島、森戸、村田、松本、川井／佐藤、中島、L飯田 計12名

12月23日(月・祝) 曇。奥多摩からのバスを雨降り以降り、歩き出す。今朝は冷え込んで寒い。バス停のすぐ近くからいきなりの急登である。しかもこの登り尾根は地図上は破線の道だが踏み跡は割と薄い。又地図では580m位で右に曲がるが、直登した方が分かり易いし、尾根を外さなければ大丈夫。少し雪が出てきた。1,190mの榎ノ山分岐あたりから雪が深くなり出したので全員交代でラッセルする。女性たちも喜んで？ラッセルしてくれた。雪が深くなるにつれ時間がかか

り縦走路に着いたのは12:00であった。風が無いので助かる。榎ノ木山の頂上にそのまま登った人と、そこですぐ昼食にした人と別れた。12:40 頂上を後にしてくだりに入った。倉戸山まではたっぷり雪があったがここを過ぎると少なくなった。倉戸口バス停に14:40に着き14:48のバスで奥多摩駅に向かった。今年最後の山行は皆さんの協力で終わりました。感謝

雨降りバス停歩き出し8:30-榎ノ山分岐10:30-榎ノ木山12:00~40-倉戸山13:25-倉戸口バス停14:40 (飯田 記)

<<再び三角点について>>

2,014年1月号で三角点について書きましたが会員より内容に間違いがあると指摘を受けました。雑誌の記事を鵜呑みにしたことを反省し、訂正してお詫びします。国土地理院測地部問い合わせ担当が「三角点標石の向きについて」という記事を新ハイ687号に載せていました。記事を抜粋します。

一等から三等三角点の設置に当っては実行法（測量作業を实地する手順等を定めたもの）が策定され、それに基づいて三角点等の測量標が設置されていました。明治34年に当時の陸地測量部が定めた三角測量方式草案がありこれによると、第十章第三款（標石ノ埋定）「・・・盤石ノ位置確定シタルトキハ柱石ノ正面（文字ヲ刻セル方）ヲ南方ニ向ケ・・・」とあり、柱石の正面（三角点と記されている面）を南に向けるよう定められています。尚、現在の測量法施工規則によると「柱石はその側面がそれぞれ東西南北に面するように設置し、東面には「基本」又は「公共」の文字を、西面には「国土地理院」若しくは「国地院」の文字又は当該測量計画機関名称若しくは「略称」を表示する文字を、南面には標石の種類を、北面には標石の番号をそれぞれ記入する。」となっており、現代においても同様に正面「標石の種類、三角点」が南面に向けられて設置されています。以上により1月号の記事には誤りがありました。訂正します。 (飯田)

大村征夫さんから1/2.5万図に関する資料を頂きました。

国土地理院刊行の2万5千分1地形図が50年ぶりに変わります。3色刷から多色刷にすることによって、多彩な色で地物を表現したり、地形に陰影をつけて立体感を得やすくして、より読みやすい地形図になります。

旧	内容	新
3色 (墨版(黒)、褐色(茶)、藍色(青))	色数	多色刷

なし	陰影	あり
黒	建物	橙色
茶色	高速道路	緑色
茶（国道番号はカッコ書き）	国道	赤（おにぎり型の国道番号）
着色なし	都道府県道	黄色
270円	価格	330円

《 お 知 ら せ 》

☆ 4月の山行予告

10日（木） 鉄五郎新道～御岳山 L山田広子

13日（日） 総会

26日（土） 今倉山 L飯田隆一

☆ 3月の役員会は3月5日（水）代々木区民会館18:00～20:00です。

☆ 4月の山行計画及び山行報告を1月31日（火）までに飯田まで提出して下さい。